

2023年5月29日

各 位

株式会社北洋銀行  
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

## 「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド」を通じて、スタートアップ2先へ出資致しました

株式会社北洋銀行、株式会社北海道二十一世紀総合研究所は、2023年4月に株式会社<sup>フリント</sup>FLINTZさま（本社：札幌市 代表：高森 拓也様）、五稜化薬株式会社さま（本社：札幌市 代表：丸山 健一様）へ「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド（北洋 SDGs 推進 2 号投資事業有限責任組合）」を通じて出資致しました。

北海道において、スタートアップ企業は成長のドライバーとして将来の雇用、所得、財政を支える担い手であり、当行は地域金融機関として積極的に支援しています。「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド」では、SDGs を重視する企業に対して、出資等により支援を行っています。

2022年6月の設立以来、本件で6社にファンドを通じ支援しており、北海道経済のサステナビリティの実現のために、今後も北洋 SDGs 推進 2 号ファンドによる支援を強化していきます。

### 「株式会社<sup>フリント</sup>FLINTZさま」

当社は、ビル管理を見える化して生産性と資産価値を向上させるクラウドツール「ビルカン」を展開しています。二代目社長による創業であり、雑居ビルの管理会社をメインターゲットとし、紙・手管理が中心だったビル管理のDX化を目指します。労働集約型だったビル管理業務にプロダクトイノベーションを起こす当社の事業を高く評価し、「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド」を通じて出資致しました。

### 「五稜化薬株式会社さま」

当社は、がんなどの病変部位を体内・体外の両方で光らせ、可視化できるナビゲーションドラッグを開発しています。ナビゲーションドラッグは人の目では正常組織との区別が難しい1mm以下の微小がんを可視化することができ、がんの取り残しを防ぐことが可能になります。先ず乳がん体外診断薬をリード製品として、続いて食道がんなど複数のナビゲーションドラッグの開発を進めています。がんの取り残しを防ぐなどの社会課題を解決する当社事業を高く評価し、「北洋 SDGs 推進 2 号ファンド」を通じて3,000万円出資致しました。

以 上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs 宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGs に関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。  
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。